



市内図書館
 ○中央図書館 (LIC はびきの内) 軽里 1-1-1 ☎ 072-950-5501
 ○陵南の森図書館 島泉 8-8-1 ☎ 072-952-2750
 ○羽曳が丘図書館 羽曳が丘西 2-5-1 ☎ 072-957-5553
 ○丹比図書館 榎山 251-1 ☎ 072-937-2355
 ○東部図書館 古市 1541-1 ☎ 072-950-2002

●開館時間 10:00～18:00 (※中央図書館は 10:00～20:00)

●古市図書館 ☎ 072-958-0050 休館(土) 10:00～17:30
 ●ブックステーションはびきのコロセアム ☎ 072-937-7210 休館(土) 13:30～16:30

●ちびっこサロン

～おはなし・手遊び・おりがみ など～

【日時】10月11日(水) 10:30～
 【場所】森のゆうびんきょく (市役所敷地内)

10月のおはなし会

中央図書館	1日(日)、8日(日)、 15日(日)、22日(日)、 29日(日)	13:30～
陵南の森 図書館	1日(日)、8日(日)、 22日(日)	11:00～
	21日(土)	15:00～
	15日(日) ・11:00(小さい子向き) ・11:30(少し長いお話を聞ける子向き)	
羽曳が丘図書館	14日(土)、28日(土)	15:00～
東部図書館	11日(水)	10:30～
古市図書館	21日(土)	15:00～
丹比図書館	28日(土)	10:30～

読んでみませんか?

『幻の黒船カレーを追え』

みずの じんすけ
 水野 仁輔 / 著 小学館

幕末のころ日本に伝わったとされるカレーは、どんなレシピだったのでしょうか? カレー研究家の著者が4年にわたり国内外を調査してわかったこととは。



『わすれんぼっち』

ほしぐち さゆき
 橋口 さゆ希 / 作
 PHP 研究所

電車に置き忘れられ、「わすれものセンター」に連れてこられたメグちゃんのカサ・びかちゃん。そこにはたくさんのカサたちが持ち主を待っていました。



『コックリさんの父

—中岡俊哉のオカルト人生—

おかもと かずあき つじどう まさとし
 岡本 和明・辻堂 真理 / 著
 新潮社

一世を風靡したコリ・グラーのスプーン曲げや、心靈写真、小学生に大流行したコックリさんなどの「超常現象」の仕掛人・中岡俊哉の人物像に迫る一冊。



『なくなりそうな世界のことば』

よしおかのぼる
 吉岡 乾 / 著
 創元社

世界には数千もの言語があるといわれていますが、少数の人々が限られた地域で使う言葉のいくつかは減りつつあります。そんな中から選ばれた言葉の単語集です。



今月の休館日は 10月31日(火)

市内の図書館は全て休館

※古市図書館 10月7日(土)、8日(日)臨時休館 (ブックポストも使えません)

サラダボール

前略

君に手紙を書くのは久しぶりになります。必ず手紙を書きますと約束しましたね。元気ですか? 君の姿が見えなくなって、4年と半年が経ちました。お母さんが毎日、君に語りかけているからもう知っているかもしれないけど、この間我が家では実にいろいろなことが起こりました。

とりわけ、自分のことなのですが、お父さんは、3年前の海の日に、くも膜下出血という大きな病気のため倒れてしまい、緊急に開頭手術を行ないました。後からお母さんに聞いたのですが、そのときお父さんは生死の境をさまよっていたようです。手術は成功しましたが、それでも主治医の先生からは、障がいが身体に残る可能性も予告されていたよう

です。そして1度目の手術から3ヵ月後、再度手術を行い現在に至っています。年に1度は検査に行っていますが、幸いなことに今はこうやって君に手紙を書くことができるほどに、社会復帰することができています。それはきっと君が大好きなお母さんをもうこれ以上悲しませないようにと、お父さんが君の傍にいくのを、追い返してくれたのだらうと思っています。

前回の手紙でも認めましたが、今回この病を経てお父さんは、人誰かに支えられながら生きているのだということをあらためて実感しています。家族や、お医者さん、職場の仲間や知人、友人等多くの人に心配を掛けましたが、そんなみんなに支えられながらお父さんの命が守られて、今もがんばることができているのだと感じているからです。お母さんが大好きなミュージシャンの“ゆ

ず”のある歌の歌詞に「一人じゃ誰も生きられないんだ 確かめて支えあえたら」というお気に入りのフレーズがあります。このフレーズのように自分だけでは、何もできないことを認識し、今よりほんの少しでも人のことを思いやり、行動を起こすことができればもっともって世の中は良くなっていくものだと思っています。

お父さんは半世紀生きてきましたが、そんな大事なことを、君との思い出や自分の経験を通して、ようやく理解することができました。少し遅すぎかもしれませんが、これからは君にしっかりと自慢できるようにがんばっていくつもりですので、応援してください。

草々
 父より
 息子へ

はびきの しげんけいはつすいしんきょう ぎかい
 羽曳野市人権啓発推進 協議会